

広報 ㊦  
No.698  
令和4年

# いいいたて

4  
2022



the most beautiful  
villages  
in japan

飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

[www.vill.iitate.fukushima.jp](http://www.vill.iitate.fukushima.jp)

- 2 今月の話題「絶品カレーパン」
- 4 特集1「ゼロカーボン宣言」
- 8 特集2「令和4年度当初予算」
- 12 報告「3月議会定例会」
- 14 報告「3月16日福島県沖地震」
- 15 おしらせ「令和4年度役場情報」
- 19 ほけんとふくし「コロナワクチン」ほか
- 20 飯館百景「春の幕開け」
- 22 学びの広場「卒業式・卒園式」ほか
- 24 いいたて便り
- 26 話題のパレット
- 27 はなれていても／ふれ愛館だより
- 28 おしらせのページ
- 29 おしらせ「暮らしの情報」
- 30 いいたてDIARY／までの食卓
- 31 ふるさと資源／ひとのうごき
- 32 ほっとNEWS／飯館言葉の達人

# 村の食材を生かした絶品カレーパン

「わくわく推進協議会」のメンバーがオリジナルカレーパンの試作に挑戦！

力を合わせて  
挑戦しました

「ふるさと」の担い手の皆さんのアイデアを事業につなげようと、昨年10月に村が立ち上げた『いいたてわくわく推進協議会』。村の食材を使う事業を話し合う中で、メンバーの1人、「村カフェ753（なごみ）」の田中久美子さんを中心に、オリジナルカレーパンを試作するプロジェクトがスタートしました。試作は、明治大学が昨年完成させたカレーパンレシピの活用も担いました。

牛肉カレーパンは、ニラやホウレンソウを使ったグリーンカレーで。村産牛肉を味わうリッチなカレーパンに仕上がりました。雪つ娘カレーパンには、「までい工房美彩恋人」（渡邊とみ子代表／前田・八和木）の雪つ娘カボチャのペーストを使用。可能性や課題を探る本格的な試作に発展しました。「せっかくここまでできたので商品化したいですね」と田中さん。推進協議会の大井裕裕会長（草野）は「今回1つの形にできたようにまずは自分達がやってみて、続く人の手助けやアドバイスができるようになれば」と話していました。



素材を生かしたい…アイデアを出し合いながら

## 今月の話題 vol.23



川崎 弘子さん  
(深谷)  
栄養士として  
カレーの助っ人

山田 豊さん  
(関根・松塚)  
村内生産の  
牛肉を提供

大内 亮さん  
(八木沢・芦原)  
商工会として  
も助言・協力

田中 久美子さん  
(深谷)  
工夫と熱意で  
開発を牽引

安齋 香さん  
(飯館村社会福祉協議会)  
笑顔で何役  
もこなします



試作は「村カフェ753」にて定休日に何度も重ねられました。上の写真は2月26日のひとコマです。右のカレーパンは、山田豊さんが生産した飯館育ちの牛肉を使っています。緑の野菜を効かせたグリーンカレーは辛さひかえめで、牛肉を味わうぜいたくなカレーパンになりました。

### 試食会



3月13日、午前・午後の2回に分けてカレーパンの試食会が開かれました。右の写真は午後の部で、杉岡村長や地域おこし協力隊も参加しました。



今月の表紙  
「いいたてわくわく推進協議会」の話し合いから生まれたプロジェクト。村の食材を使ったオリジナルカレーパンの試作が行われました（隣の記事を参照）。試食会では参加者がアンケートに答えたり意見を交わしたり。新しい挑戦に多くの人が思いを重ねました。表紙は、試食会に飛び入り参加してくれた子ども達の1人、齋藤あさひちゃん（白石）です。とってもおいしいような笑顔ですね。



## 「ゼロカーボンビレッジいいたて」への挑戦！

—2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロに—

近年、異常気象による大規模な災害が多発するなど、地球温暖化に伴う弊害が顕在化しています。「脱炭素社会」を実現し、地球温暖化を防止することは、全世界的な要請であると同時に、私たち地域の将来にも大きく影響する課題です。

飯舘村は、ここに2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指し、「ゼロカーボンビレッジいいたて」を宣言します。

飯舘村は震災前から「日本で最も美しい村」連合に加盟している自然豊かな村です。

飯舘村は「ふるさと」を愛し、楽しみ、その喜びをともにする「ふるさとの担い手」が手を携える「明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと」を目指し、「ゼロカーボンビレッジいいたて」の目標を村民・事業者とともに共有し具体的な取り組みを進めてまいります。

村民一人ひとりが将来に対する責任を自覚し、飯舘村の中山間地域特有の自然条件、立地条件を活かした持続可能な未来を創出するため、「ゼロカーボンビレッジいいたて」を推進してまいります。

3月14日、飯舘村は「ゼロカーボンビレッジいいたて」を宣言しました。



「ゼロカーボンビレッジいいたて」への取り組みは、村民の皆さん、事業所の皆さん、そして行政と一緒に進めていくもの。情報を共有しながら、「温室効果ガス排出量実質ゼロ」に向けて、一つひとつの取り組みを積み重ねていきましょう。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

ストップ! 地球温暖化 挑戦! をはじめよう



特集

# ゼロカーボンビレッジいいたて



## ゼロカーボンってどういうこと?

地球温暖化を防ぐために世界の国々が「ゼロカーボン」に取り組んでいます。「ゼロカーボン」の「カーボン」とは炭素のことで、「ゼロカーボン」は「脱炭素」とも表現されます。どんな取り組みかと言うと…。

飯舘村は、「ゼロカーボンビレッジいいたて」を宣言しました。再生可能エネルギーの活用や、森林再生の取り組みなどを通して、温暖化ガスの排出削減を推進していきます。

「ゼロカーボン」の取り組みは、気候変動を引き起こしている地球温暖化をくい止め、地球環境を守るための世界的な運動です。

二酸化炭素(CO2)などの温暖化ガスの排出量を低減し、森林などによる吸収量とバランスを取ることで、実質的な排出量をプラスマイナスゼロにした状態を「カーボンニュートラル」と呼びます。2050年までのカーボンニュートラル社会(脱炭素社会)の実現(=ゼロカーボン)を目標に、世界の国々が協調して取り組みを進めています。日本も2020年に「2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指す」と宣言。それを受けて、地方自治体ごとの取り組みが、本格化しています。

二酸化炭素(CO2)は動物の呼吸や有機物が燃えることで空気中に排出され、植物の光合成によって消費されています。

実現にはCO2の排出量を今より大幅に減らす必要があります

カーボンニュートラルでゼロカーボンを実現  
CO2の排出量 = CO2の吸収量

ニュートラルとは「いずれにもかたよらない」という意味です



光合成で消費するよ  
緑を大切にしましょ!

飯舘村も「ゼロカーボンシティ」になりました

2050年にCO2(二酸化炭素)を実質ゼロにすることを旨すと公表した地方自治体は「ゼロカーボンシティ」と呼ばれます。(参考)環境省ホームページ <https://www.env.go.jp/policy/zerocarbon.html>



一人ひとりにできること



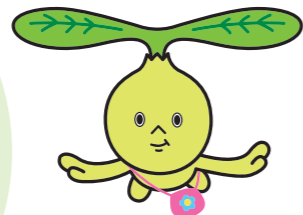
## 「ゼロカーボンビレッジいいたて」への挑戦！

暮らしの中で取り組めることがたくさんあります

までいな村の得意分野です！



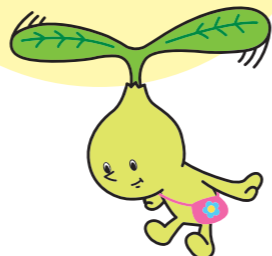
車の利用を減らし公共交通機関を利用することで、ガソリンの使用量を減らすことができます。



食品ロスを減らすことで、無駄になる食品の生産・流通・廃棄を防ぎ、それらにかかるエネルギーも節約することができます。



断熱構造の住宅に住むことで、冷暖房にかかる電気の使用量を減らすことができます。



環境に配慮した製品の利用を心がけましょう。場面に応じて簡易な包装・梱包を選ぶことも省資源につながります。



こまめな節電もみんなで取り組めば大きな効果に。家電を買い替える際には省エネタイプへの切り替えを。



長く使えるものを選び大切に使うことでゴミを減らせます。リサイクルも頑張りましょう。ゴミの分別もゼロカーボンにつながっています。



みんなでコツコツ楽しみながら「ゼロカーボンビレッジいいたて」に取り組みましょう。未来を生きる子ども達の地球環境を守るために。

チャレンジ 〈挑戦〉

# challenge



「ゼロカーボン」につながる「カーボンニュートラル」を実現するためには、再生可能エネルギーの活用や、森林の再生、ゴミの減量などが効果的！

村づくりとしての取り組み



## 「ゼロカーボンビレッジいいたて」への挑戦！

飯館村にある資源を生かす環境対策・エネルギー対策を進めます



クロス発電

### 村民の福祉向上に役立つ再生可能エネルギーに取り組みます

太陽光発電施設・風力発電施設が稼働しています(大火山など)  
木質バイオマス発電施設が整備されます(蕨平地区) ※下記参照



地域防災センター

### エネルギーの使い方を見直します

公用車への電気自動車の導入や充電設備の設置を推進します  
公共施設等で再生可能エネルギーの導入を進めます  
住宅の省エネルギー化を推進します



深谷団地

### 森林や農地を再生・活用します

未利用農地の適正管理や多様な利活用を推進し、農地を生かしていきます  
森林の活用を進めます  
村の美しい景観の保全に努めます  
木質バイオマス発電事業で森林材を活用、余熱の活用にも挑戦 ※下記参照



美しい里山

### 再生資源を生かします

再生可能な資源の分別と資源化を進めます  
未利用資源を活用する事業など、持続可能な社会に貢献する産業の創出を目指します



ウッドチップの遊歩道

ツツジの森

### 情報を共有して皆で取り組みます

情報を共有して取り組みを広げると同時に継承する次世代の育成にも力を注ぎます  
再生可能エネルギー導入につながる制度や情報の提供に努めます

### 木質バイオマス発電施設が整備されます

公募で選ばれた「飯館バイオパートナーズ」が事業主体となっています。

蕨平地区で、木質バイオマス発電施設の整備が、令和6年度の稼働に向けて動き出しています。この事業は、停滞している林業の活性化を促し、浜通りのみならず県全体の復興を力強く牽引すると期待されている事業です。また、間伐と植林を進めることにより、脱炭素社会の実現に貢献。さらには、余熱を農業に利用する未来志向型農業へのチャレンジも打ち出しています。

村政方針

## 明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと

### 4つの指標

- 1 次世代・継承
- 2 なりわい
- 3 10年後を見据える
- 4 帰還困難区域

4つの指標と2つの力点を持って施策を進めます

力点2

### 村の将来への布石

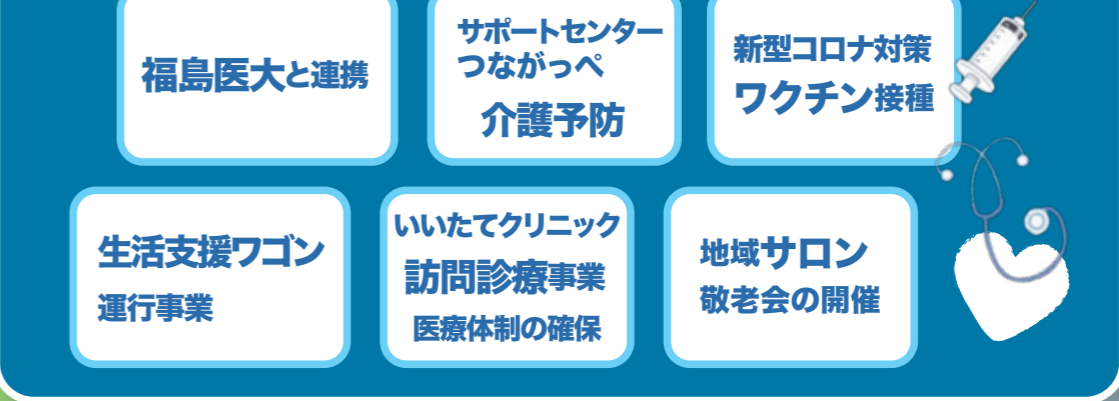
### 村民の今を支える

力点1

### 1 生きがいと生業の力強い再生と発展



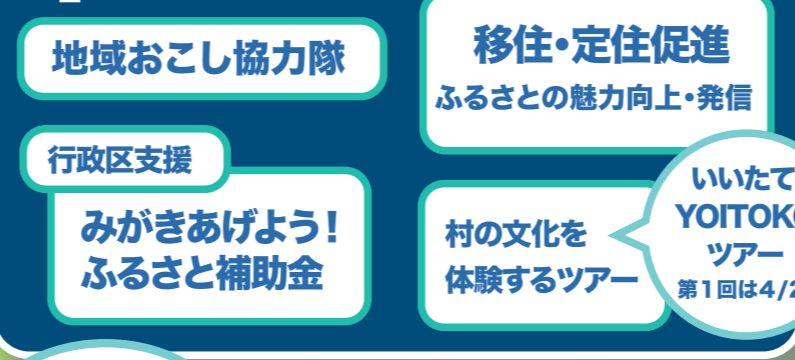
### 2 健康で生き生きと楽しく暮らせるふるさとづくり



### 3 情報通信技術 (ICT) による新しい村づくり



### 4 ふるさと資源のフル活用



令和5年春の避難指示解除に向けて 帰還 困難区域

### 5 生き生きとした学びの場を育む



木質バイオマス発電

ゼロカーボン

自治体DX デジタルトランスフォーメーション

ふくしま田園 中枢都市圏

飯舘牛 (黒毛和牛)

あぶくまもち

企業消防

災害対策

広報

ホームページ

税

買い物支援事業

### 「明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと」を目指して



飯舘村長 杉岡 誠

新しい年度がスタートしました。「明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと」の実現に向け、令和4年度は、4つの指標、2つの力点を持って、さらに「ふるさとの担い手」を主役とする政策を進めていきます。

4つの指標は、施策に取り組むにあたっての「姿勢」でもあります。1つ目は「次世代・継承」。次世代が踏み出す一歩をさらに力強いものにする施策に取り組みます。2つ目は「なりわい」。企業誘致や起業支援を含む産業の創出を強力に進めつつ、意欲を持って村内での「なりわい」興しや就労に取り組み方を村民、移住者の区別なく多角的に支援します。3つ目は「10年後を見据える」。今後10年間の年代ごとの人口やニーズの変遷を想定しながら、将来を見据えた施策に取り組みます。そして4つ目は「帰還困難区域」。長泥地区特定復興再生拠点区域の令和5年春の避難指示解除に向けて、2月に立ち上げた長泥地区除染検証委員会による検証や、住民の皆さまとの協議、生活インフラの再整備、

国県との協議など、取り組みを加速していきます。

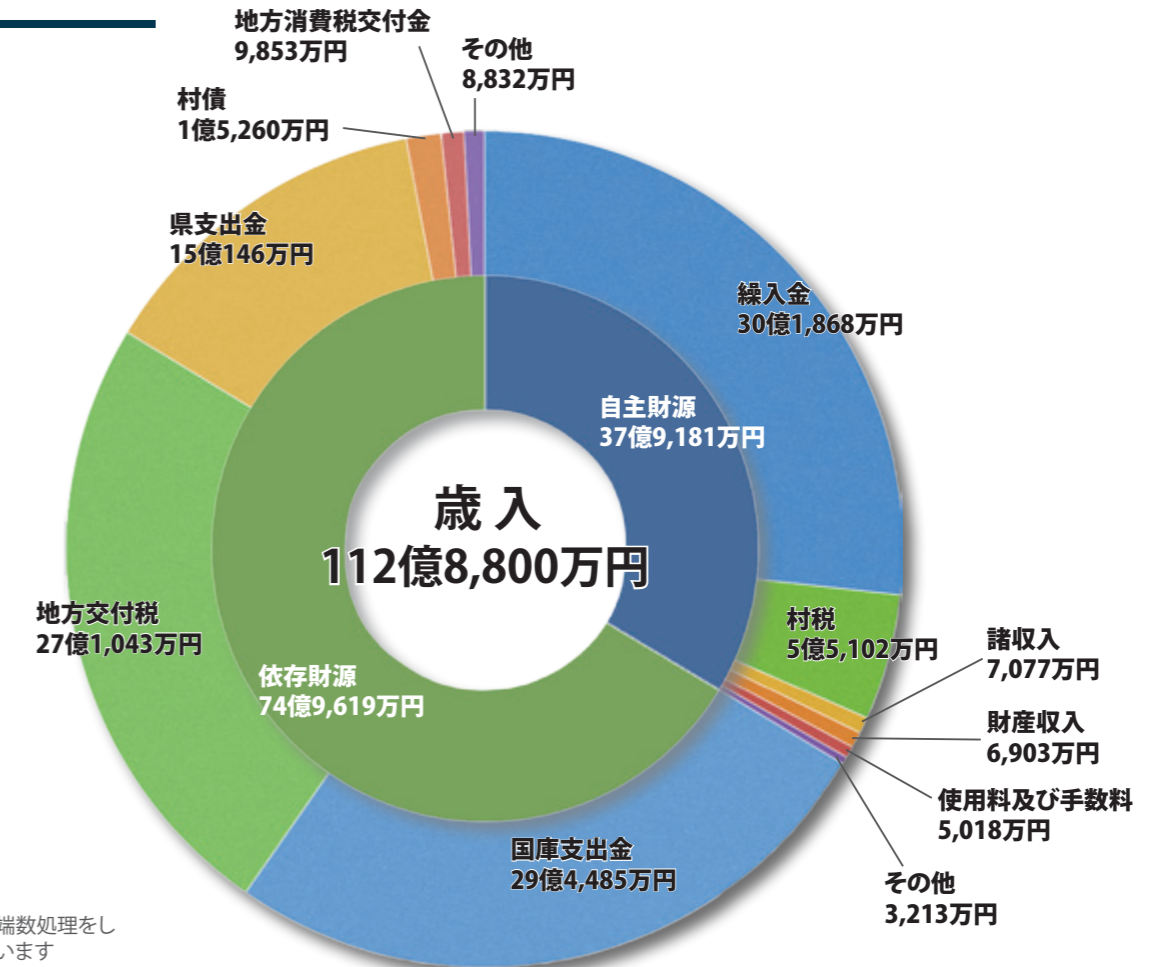
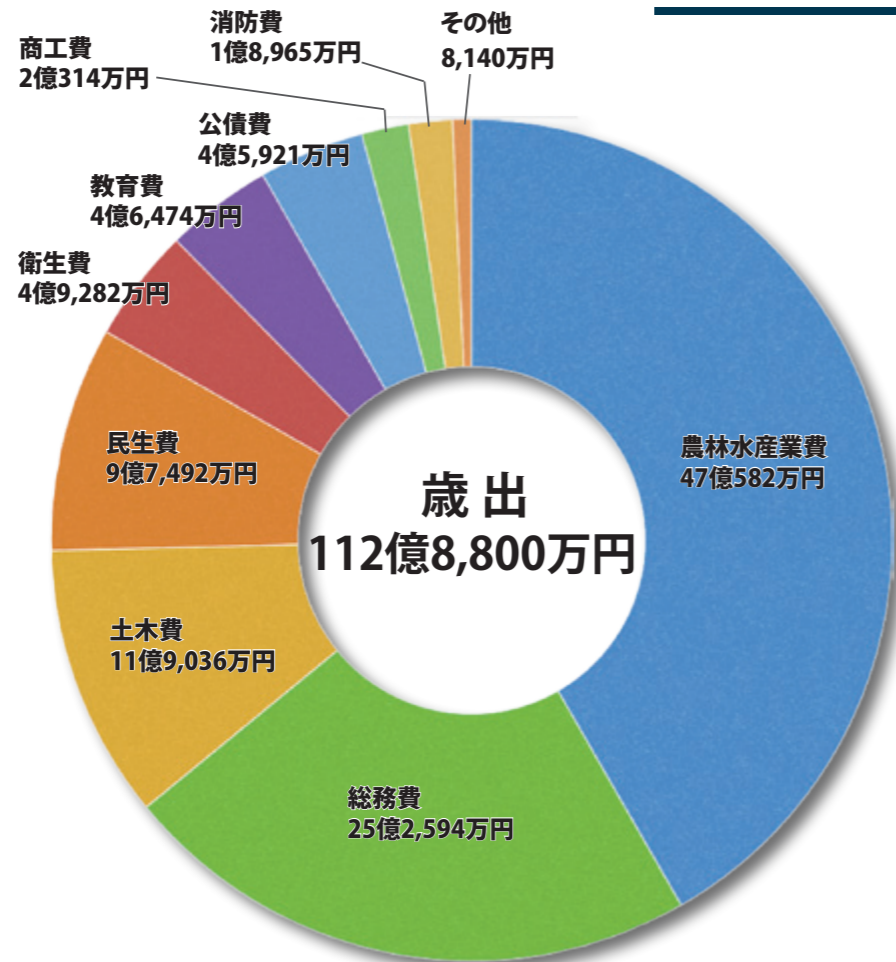
これら4つの指標・姿勢に加え、「村民の今を支える取り組み」「村の将来への布石となる取り組み」の2つの力点をもって事業を進めます。

「村民の今を支える取り組み」として、引き続き村民の「命と生活を守る」ための取り組みとして、新型コロナウイルスの村内・村外の接種を進めます。また、福島県立医科大学と連携した介護予防体制の強化のほか、新たに訪問診療に取り組み、医療・介護・福祉環境の強化を図っていきます。なお見守り活動と連携した買い物環境の充実(商福連携)などにもチャレンジしていきます。

「村の将来への布石となる取り組み」としては、新たな世代が可能性を見出す「わくわくする楽しいふるさと」を創出するために『飯舘牛復活プロジェクト』や『あぶくまもち』等による新たな産品開発・販売を進めます。また『ゼロカーボンレジリエンス宣言』に基づき、脱炭素社会の実現に向けて村の農地や山林に新たな価値を生み出す取り組みを進め、自治体デジタルトランスフォーメーションやデジタル田園都市構想に則したICT施策・情報通信環境の構築などにチャレンジしていきます。

令和4年度

当初予算112億 8,800万円



グラフの金額は端数処理をし万円単位にしています

令和4年度一般会計

歳出

令和4年度における村の支出総額

前年度に引き続き、「明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと」を築き上げるための予算となっています。そのため「生きがいと生業の力強い再生と発展」「健康で生き生きと楽しく暮らせるふるさとづくり」「情報通信技術（ICT）による新しい村づくり」「ふるさと資源のフル活用」「生き生きとした学びの場を育む」の5つの視点から事業を展開しています。また、新型コロナウイルス感染症など喫緊の課題に対応するための予算も計上しています。

令和4年度一般会計

歳入

令和4年度における村の収入総額

歳入の大部分を国庫支出金や地方交付税等の依存財源が占めています。また、自主財源に分類される繰入金のうち「帰還環境整備交付金基金繰入金（21億3659万円）」は、国庫支出金を村の基金（貯金）に積み立てて木質バイオマス施設等緊急整備事業などの国庫補助事業に使用されるものであり、これらを踏まえると、当村の財政運営は国や県に非常に依存していることが分かります。

- 国民健康保険特別会計…………… 8億1,660万円
- 簡易水道事業特別会計…………… 1億4,447万円
- 農業集落排水事業特別会計…………… 5,273万円
- 介護保険特別会計（事業勘定）…………… 11億5,118万円
- 介護保険特別会計（サービス勘定）…………… 659万円
- 後期高齢者医療特別会計…………… 7,675万円

令和4年度 特別会計

特定の事業を特定の収入で行うため、一般会計とは分けて設けた会計です

令和4年度当初予算

令和4年度一般会計当初予算額は112億8,800万円であり、4年連続で100億円を超える予算となっています。

農業振興のための施設整備・備品導入などを支援する被災地域農業施設等整備事業、村道の舗装機能回復工事などの事業費は減少しているものの、木質バイオマス施設等緊急整備事業、宿泊体験館きこり宿泊棟改修工事などの事業費が増加しており、前年度と比較して8,800万円の増（0.8%）となっています。

また、復旧・復興事業分の予算額は約74億円であり、予算全体の約65%を占めています。



# 令和4年 第2回 飯舘村議会定例会

## 今議会で可決 された議案など

(紙面の都合上、一部省略しています)

**令和3年度一般会計補正予算**  
歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ4億1185万1千円を減額し、総額182億9164万3千円とする。

### 令和4年度一般会計予算

令和4年度飯舘村一般会計予算歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ112億8800万円と定める。

### 飯舘村国民健康保険 特別会計予算

### 飯舘村簡易水道事業 特別会計予算

### 飯舘村農業集落排水事業 特別会計予算

### 飯舘村介護保険特別会計予算

### 飯舘村後期高齢者医療 特別会計予算

飯舘村地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準に関する条例

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

村民の森の指定管理者の指定について

民家園ふるさとの指定管理者の指定について

いたて村の道の駅までい館の指定管理者の指定について

メモリアルホールいたての指定管理者の指定について

村道路線の認定について

## 村長村政報告

(紙面の都合上、一部省略しています)

**住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金**

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなかで、国の経済対策として、国民の生活・暮らしを支援する1世帯あたり10万円を支給する「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」です。

支給対象者となる住民税非課税539世帯の方に、令和4年2月9日付でお知らせ文書を送付し、令和4年3月中に対象世帯の口座へ支給することとしています。

### 村民の帰還状況

2月1日現在の村への帰還者は637世帯、1233人で帰還率は約24.7%となっています。これに、震災後の転入者193人といたてホームの入居者等を合わせ、村内の居住者は774世帯で1476人となっています。

### 新型コロナウイルス関係

新型コロナウイルスワクチン接種状況について、村内居住者の2回接種率は、1月31日現在90.1%となっており、村内・村外を合わせると、89.5%となっています。

また、現在国が進めている3回目接種については、新たに「いちばん館」に集団接種会場を設け実施しています。

接種対象者には、意向調査を順次行い、2回目接種から6か月を経過した65歳以上の高齢者を優先に、接種日時を村が割当てとしてご案内し、2月23日と24日に240人ずつ、計480人の接種を行いました。3月末までに最大で1920人の接種を実施することとしています。

また、村外のかかりつけ医療等での接種を希望される方に対しては、順次、接種券・予診票等を送付している他、必要に応じて関係市町村との調整を行っています。

村では今後も、村民の皆さまの接種機会の確保に努めます。

### あぶくまもち関係

あぶくまもちは、村が新たな特産物として今後振興を図っていくこととしている。福島県が開発したもち米のオリジナル品種ですが、より一層の振興を図るための組織として、令和3年12月10日に生産者3名で構成される「飯舘村あぶくまもち生産組合」が設立されました。

さらにこの生産組合が、令和4年1月18日付で県と「あぶくまもち」の種苗許諾契約を締結し、種もみの生産を行う権利を得ることができました。

令和4年は村内の圃場60アールで、まずは種もみの生産が行われることとなっており、令和5年の本格栽培と作付面積の拡大に向け、村として振興していきます。

### 鳥獣被害対策

令和3年度、村鳥獣被害対策実施隊により、1月31日現在でイノシシ330頭、サル58匹を捕獲しています。

### 木質バイオマス施設等緊急整備事業

令和3年度は主に燃焼炉やタービン、安全設備などのバイオマスプラント本体の設計を行うこととしていました。

今後、令和4～5年度の2年間をかけ、プラント本体やプラント建屋など、関係する施設を整備予定であり、令和6年春の運転開始に向け、事業が本格的にスタートしました。

### 農業基盤整備促進事業

村内17の行政区について、測量設計等の委託12件、工事39件を発注していますが、うち8行政区の委託業務6件、工事7件について完了しており、他の発注についても、早期完了に向けて実施しています。

なお、各行政区における説明会については、新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着き次第、早急かつ計画的に実施します。

### 河川等清掃業務

古今明川と佐須川、合わせて延長3.22kmにおいて河川の土砂の撤去を進めており、令和3年度内完了の見込みとなっています。これで村が管理する普通河川の土砂撤去については、ひと通り終了します。

### 村道の除雪

2月7日時点において、1次路線を2回、2次路線を1回、拡幅、吹き溜まりの除雪を7回実施しました。

### 就園・就学見込み数

までのりの里のこども園は、5歳児19人の卒園児を含む21人の減少に対し、新入園児1人で、現在より20人減の39人となります。

いたて希望の里学園は、9年生13人の卒業生を含む14人の減少に対し、新入生17人を含む21人の増加であり、現在より7人増の69人となります。

こども園と学校の合計人数は令和3年度の121人より13人減の、108人の見込みとなっています。

令和4年度版

お知らせ

# 飯舘村役場情報2022



飯舘村役場の各課・各係の連絡先一覧を掲載します。今年度から、村づくり推進課の企画係と定住交流係が「企画定住係」に統合されました。また建設課農林土木係が「農業基盤再生係」となります。業務内容や連絡先をご確認ください。

また、人事異動による新体制についても、併せてお知らせします。

このページは広報から取り外して使うこともできます。ぜひご利用ください。

## 報告

# 飯舘村で震度6弱 3月16日福島県沖地震

3月16日午後11時36分、福島県沖を震源とするマグニチュード7.4の地震が発生し、飯舘村では震度6弱を観測しました。

この地震の最大震度は、福島県の国見町・相馬市・南相馬市、宮城県の登米市・蔵王町で観測された震度6強で、福島県・宮城県の全域が「災害救助法」適用地域に指定されました。

村では、地震の直後から関係職員が役場に駆けつけ、災害対策本部を立ち上げて、被害状況の確認や対応にあたりました。翌17日には、断水していた深谷地区・大平地区で、自衛隊による給水を実施。また、行政区の協力を得ながら被害状況の確認を継続し、村内約90軒で屋根瓦の落下が確認されたことから総務課総務係を窓口に応急処置用ブルーシートを配布しました。



道路や農地にひび割れや地割れが発生しました



家屋や塀、のり面などへの被害も報告されています



墓石の被害が多数確認されています



震度6弱の揺れで屋根瓦の落下が相次ぎました

## り災証明書の申請受付

問 住民課税務係 ☎0244-42-1615

3月22日から、この地震で家屋などに被害を受けた方に対して、り災証明書の申請受付を行っています。受付場所は住民課税務係（飯舘村役場1階）です。本人確認ができるものと、被害状況が分かる写真をご持参ください。後日現地調査を行った後に、り災証明書を発行します。

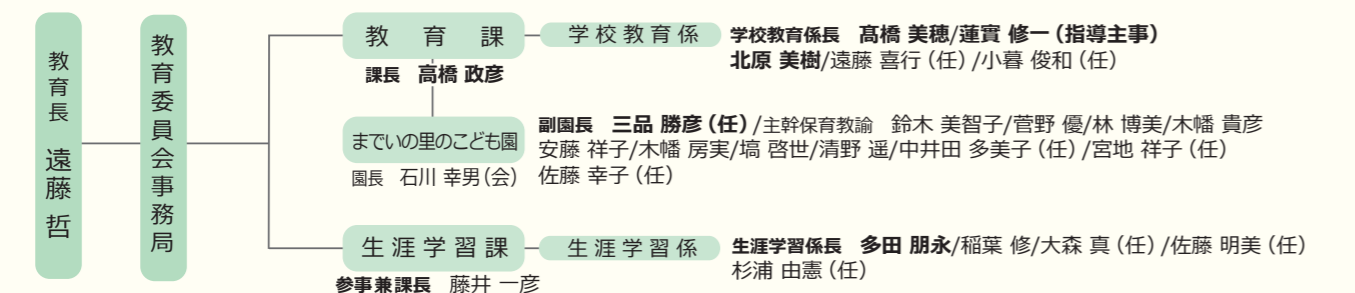
●東北電力では、被災した利用者からの申し出に応じて、電気料金等の特別措置を行います。特別措置の内容は、「電気料金の支払い期日の延伸」「不使用月の電気料金の免除」「工事費負担金の免除（要件あり）」「臨時工事費の免除（要件あり）」「使用不能設備に相当する基本料金の免除」で、それぞれに期限等があります。申し込み方法の詳細は、フリーダイヤル ☎0120-066-774まで。もしくは最寄りの東北電力窓口にお問い合わせください。

今回の地震に関する追加の情報は「お知らせ版」等で引き続きお知らせしてまいります。手続き等の際には、最新の情報をご確認ください。



# 令和4年度 村の組織と職員の配置

令和4年4月1日付で、職員の人事異動が行われました。令和4年度の体制は次のとおりです。



**退職者** 高橋 正文/齊藤 ひろみ/赤石澤 愛  
(令和4年3月31日付)

※太字になっているのが、今回の昇格・異動者です。  
※紙面の都合上、主に正規職員、任期付職員、派遣職員を記載し、職名を一部省略しています。(新)…新規採用職員 (任)…任期付職員 (市町村名)…派遣職員 (併)…他部署との併任 (兼)…他業務との兼任 (会)…会計年度任用職員

# 飯館村役場 各係連絡先

本 庁	総務課	総務係 ☎ 0244-42-1611	消防・防災、選挙、法令、行政区長会、情報公開等
		財政係 ☎ 0244-42-1612	予算・決算、入札、地方交付税、ふるさと納税・義援金等
	村づくり推進課	企画定住係 ☎ 0244-42-1613	総合計画、復興拠点整備、広報・広聴、情報通信基盤整備、景観、移住・定住、空き家・空き地バンク等
		商工観光係 ☎ 0244-42-1620	企業支援、就労・雇用支援、観光関係等
	住民課	住民係 ☎ 0244-42-1618	戸籍、住民票、各証明発行、国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金、ごみ、防犯、浄化槽、畜犬、マイナンバー等
		税務係 ☎ 0244-42-1615	地方税の賦課・収納、所得税・住民税の申告相談、各税証明発行等
	産業振興課	農政第一係 ☎ 0244-42-1621	農業振興、農業復興、就農支援、農地中間管理事業、畜産等
		農政第二係 ☎ 0244-42-1625	営農再開支援事業、環境再生事業、獣害対策、モニタリング、水田農業、林業、中山間・多面的事業、土地改良区等
	農業委員会事務局	☎ 0244-42-1621 (農政第一係内)	農業委員会運営、農地法許可申請関係、農地中間管理事業
	建設課	建設管理係 ☎ 0244-42-1624	村営住宅の入退去・維持管理、簡易水道・農業集落排水施設の維持管理等
	土木係 ☎ 0244-42-1623	村道、橋梁、河川整備・維持管理等	
	農業基盤再生係 ☎ 0244-42-1610	農業基盤整備、農林土木施設の整備・維持管理等	
教育課	学校教育係 ☎ 0244-42-1631	認定こども園、義務教育学校、学童保育、預かり保育、スクールバスの運営等	
会計室	☎ 0244-42-1627	村行政に関する会計業務	
議会事務局	☎ 0244-42-1628	村議会運営に関すること	
「ふれ愛館」 交流センター	生涯学習課	生涯学習係 ☎ 0244-42-0072 (ふれ愛館) ☎ 0244-42-0152 (スポーツ公園管理棟)	生涯学習事業、青少年事業、男女共同参画、読書推進、文化財保護、伝統文化関係等 社会体育、スポーツ公園、パークゴルフ場等
	健康福祉課	健康係 ☎ 0244-42-1637 福祉係 ☎ 0244-42-1633 地域包括支援センター ☎ 0244-42-1626	健康増進、成人健診、乳幼児健診、子育て相談、心の相談、予防接種等 高齢者福祉、介護保険、介護認定、介護予防、障がい者福祉、児童手当、子育て支援、児童福祉等 高齢者総合相談、高齢者権利擁護相談、介護予防ケアマネジメント等

いちばん館

● 新型コロナワクチンの追加接種(3回目接種)について ●

● 追加接種の対象・接種場所について

接種対象者:18歳以上の2回目接種完了から6か月を経過した方  
 接種場所:村内または避難先

(村内居住者については福島市との協定により福島市内での接種も可能です)

● 村内での追加接種について

接種方法:集団接種  
 接種場所:活性化センターいちばん館(飯舘村伊丹沢字伊丹沢571番地)  
 接種日程:令和4年2月23日・24日、3月2日・4日・24日～26日  
 ※接種日時は村が指定します。4月以降も実施します。



接種対象:2回目接種から6か月を経過し、意向調査で村内接種を希望した18歳以上の方

● 避難先での追加接種について

避難先の市町村ごとに接種時期や接種の方法が異なります。避難先の指示による方法で接種の予約等の手続きをしてください。

ワクチン接種に関するご質問・ご相談は健康係までお問い合わせください。1回目・2回目の接種が完了していない方で、接種を希望される方もご連絡ください。

問 健康福祉課健康係 ☎0244-42-1637

お知らせ

「村民の森あいの沢」オートキャンプ場 再開準備中!

「村民の森あいの沢」は、浮き橋のかかるため池、「宿泊体験館きこり」、オートキャンプ場、民家園などが点在する約50haの広大なエリア。木漏れ日が揺れる遊歩道には、みかげ石製の「あいの句碑」が配置されていて、震災前は休日を中心に多くの利用客でにぎわっていました。

「あいの沢」は、これまで「きこり」を除く施設の営業を停止していましたが、オートキャンプ場の再オープンが決定し、現在その準備が進められています。再開のスケジュールや利用方法などは改めてお知らせします。

問 村づくり推進課商工観光係 ☎0244-42-1620



主な施設の連絡先 公共施設などの住所と連絡先をまとめました



🍀 いいたてスポーツ公園

飯舘村伊丹沢字山田380番地  
 ☎ 0244-42-0152 FAX 0244-42-1300  
 開館時間:午前9時～午後9時  
 ※利用申込がない平日は午後5時15分に閉館。  
 休館日:年末年始  
 ※平日の午後5時15分以降、土・日・祝日は、事前予約の上、自主管理で利用が可能です。  
 ※予約がない土・日・祝日は休館します。



🍀 交流センター「ふれ愛館」

飯舘村草野字大師堂17  
 ☎ 0244-42-0072 FAX 0244-42-0860  
 開館時間:午前8時30分～午後9時  
 ※利用申込がない平日は午後5時15分に閉館。  
 休館日:年末年始  
 ※平日の午後5時15分以降、土・日・祝日は、事前予約の上、自主管理で利用が可能です。  
 ※予約がない土・日・祝日は休館します。



🍀 いいたて希望の里学園

飯舘村伊丹沢字山田380番地  
 ☎ 0244-42-0003  
 ※入学などに関するお問い合わせは  
 飯舘村教育委員会 ☎ 0244-42-1631



🍀 までのりの里のこども園

飯舘村伊丹沢字山田380番地  
 ☎ 0244-42-0229  
 ※入園などに関するお問い合わせは  
 飯舘村教育委員会 ☎ 0244-42-1631



🍀 飯舘村社会福祉協議会

飯舘村伊丹沢字伊丹沢571番地  
 (陽だまりの家)  
 ☎ 0244-42-1021 FAX 0244-42-1040

🍀 サポートセンター「つながっぺ」

飯舘村伊丹沢字山田380番地  
 (いいたてクリニック内)  
 ☎ 0244-26-5207  
 ※利用登録は飯舘村社会福祉協議会(上記)へ



# 飯舘 百景

## 春の幕開け

オオイヌノフグリが一面に咲いて、小宮地区の農地の畔(あぜ)が小花柄になっていました。枯れ草を押し分け顔を出した野の草も、小さな葉を精一杯に広げていました。芽吹きの中です。



3月25日、ひと足先に大倉地区で咲いていた梅の花



早春の空の色にほんのり染まるはやま湖



草野地区の県道沿いで春を告げるマンサクの花

雪解けが進み、日に日に春らしさが実感できるようになりました。3月中は寒の戻りが厳しく、進みかけていた春の歩みが、何度も後戻りをしました。お彼岸中の22日にも、名残り雪が降りしきり、あつという間に村全体を真っ白に染めました。

飯舘の春を告げるのは、「マンサクの花」です。マンサクには「満作」「万字」という縁起のよい漢字があてられます。語源は明らかではありませんが、早春に咲くことから、「まず咲く」が転じてマンサクとなったという説があるそうです。冬枯れの林で真っ先に、黄色い花を咲かせます。金縷梅(きんるばい)の別名もあります。

雪が解け、マンサクの花が林でそっと咲いた頃、村で一番春が早い大倉地区では、梅の花がほころび、はやま湖が少し霞んだ空の色を映していました。湖畔はこれから芽吹きの淡い緑にどんどん染まっています。

牧草地や野原でも、野の草が一斉に小さな葉を広げ始めました。行きつ戻りつ春の歩みに、しびれを切らしてはいたはずですが、オオイヌノフグリもかわいらしい花をポツポツと開いて、気持ちよさげに陽の光を浴びていました。花咲き乱れる春本番が、もうそこまで来ている。



石川園長から修了証書を受け取る卒園児。それぞれの成長が感じられる立派な態度でしたね



大切な歌に心を込めて。楽しい思い出がいっぱいの園舎に卒園児が歌声を響かせました

### までのりの里のこども園 ずっといっしょのともだち 卒園式



3月18日に卒園式が行われ、19人が修了を迎えました。この日、卒園児の胸には保護者手作りのコーサージュ。一人ひとりが堂々と胸をはって式に臨み、石川幸男園長から修了証書が手渡されると、「ありがとうございます」としっかりと大きな声で答えていました。

式では、園児が保護者に花束を手渡したり、「洗濯してくれてありがとう」「いつもおいしいご飯を作ってくれてありがとう」と日頃の感謝を伝えたりして、成長した姿を見せていました。

### いいたて希望の里学園 卒業式



卒業式は3月11日に行われました。関係各位が式辞や祝辞で「困難を乗り越え、伝統や絆を未来につなぐ」と13人の卒業生を讃え「培った力を財産に」と前途を励ました。また、在校生の磯山姫夢さんが、卒業生の優しさや獨創性、情熱に満ちた姿に触れ「功績を受け継ぎよりよい学校をつくりたい」と送辞を述べました。答辞を述べた庄司大夢さんは「ここでしかできない経験」だったと数々の挑戦を振り返り、「今以上に笑顔があふれる学園に」と願いを伝え、学び舎に別れを告げました。



清々しい表情で一人ひとりが壇上に上がり、山田徹校長から卒業証書を受け取りました



庄司大夢さんの答辞。学園やふるさとへの想いにあふれ出席者一同が胸を熱くしました

### 学園 NEWS 鹿兒島の小学校とオンライン交流学習



3月15日、5年生と、鹿兒島県出水(いずみ)市立下水流(しもずる)小学校の5年生がオンラインによる交流学習を行いました。下水流小学校は震災後から長きにわたり、村の学校に本や文房具、お米などの物資を支援してくださっています。最初は緊張している様子の子供達でしたが、徐々に打ち解け、終盤の質問の時間は互いに大盛り上がりでした。

### 学園 NEWS 食を考える会から卒業生へ卒業祝い品



3月9日、『飯館村食を考える会』から学園の卒業生に、卒業祝い品が贈呈されました。今年は、健康を願うお守り「さるぼぼ」やオリジナルのハガキなどが贈られました。この日は会を代表して菅野一代さん(比曾)と田村紀恵子さん(二枚橋・須萱)が出席し、「制限ある学校生活を過ごした経験は、必ず今後の自信につながるはずです」とエールを送りました。

### 学園 NEWS 後期課程の生徒から学びの成果が届く



3月8日、後期課程の生徒が『いいたて学』の学びの成果を杉岡村長に報告しました。報告会は学園と村役場をオンラインで結んで行われました。7年生はこれまでの村について学び作成したレポートと映像を、8年生は現在の村を取材した「いいたて名人図鑑」を、9年生はホストタウンプロジェクトの集大成となったデザインの活用を、それぞれいきいきと報告しました。

### 学園 NEWS 6年生が村長に提案タウンミーティング



2月25日、6年生と杉岡村長による『タウンミーティング』が開かれました。児童は、農業・商業・医療などをテーマに、村の現状や方針について質問。加えて課題解決に向けた提案も行いました。杉岡村長は「学びの様子に感心しました。一歩進んだ提案をありがとうございます」と感謝。児童も「復興について話し合えてよかった」「またやってみたい」と達成感を得ていたようです。

「<sup>までいコーヒー</sup>Maday Coffee」で広がる応援  
四季を彩る樹木を寄贈



「までいコーヒー」を手にする佐藤さん(左から2人目)。母親の美津子さん(同3人目)らも見守りました

佐藤俊彦さん(草野)が、勤務先の(株)鈴木コーヒー(新潟県)で開発に携わった「までいコーヒー」を返礼品にクラウドファンディングを実施し、全国から寄せられた資金を元に、村へ樹木を寄贈しました。植樹のセレモニーは3月7日に行われ、桜、サルスベリ、紅葉、モミの木4種の樹木が、「ふかや風の子広場」に植えられました。佐藤さんは「村のため、子ども達のために行動したいと考えてきた。四季折々に訪れる人を笑顔にできたらうれしい」と晴れやか。植樹した若木に「大きくなれよ」と声をかけていました。

佐藤八郎議員 在任27年  
全国町村議会議長会が表彰

飯館村議会の佐藤八郎議員が在任27年を迎え、全国町村議会議長会から表彰を受けました。伝達式は、2月28日に、村議会事務局で行われ、佐藤一郎議長が佐藤八郎議員に表彰状を伝達しました。佐藤議員は長きにわたる議員活動を振り返り「村民の声を聞き、行政と村民の間に立って提案を行ってきた。原発事故を経て議員活動は変化したが、住民の話を聞くという土台は変わらない。村長を先頭に希望のある村づくり・村民の暮らしづくりを担っていきたい」と話していました。



平成5年の初当選から7期にわたり村議会議員を務める佐藤議員。永年の功績を讃える表彰です

元気アップポイント表彰式  
3人が50ポイントを達成



コロナ禍の中、家で過ごす時間を読書で有効活用し、コツコツ取り組んだ成果が表彰されました

3月23日、交流センター「ふれ愛館」で『いいいて元気アップ・ポイント事業表彰式』が行われました。今年の受賞者は佐藤チヨ子さん(前田)、松下清子さん(宮内)、西村美喜子さん(深谷)の3人。表彰状と、道の駅の商品券5,000円分が贈られました。元気アップポイントは、生涯学習事業に参加したり、本を借りたりすることで1ポイントが付与される事業で、50ポイント達成した方を対象に表彰を行います。ご家族でポイントを合算することもできますので、ぜひご参加ください。

自然の音と音楽が融け合う  
「景色の見える音楽会」

NHK「ラジオ深夜便」などでおなじみのピアニスト、守時タツミさんのコンサート『景色の見える音楽会』が、3月5日に、交流センター「ふれ愛館」で開催されました。守時さんは震災後、仮設住宅などでも演奏会を開いて村民に寄り添い、その後もたびたび村を訪れていましたが、コロナ禍により1年半ぶりのコンサートとなりました。

飯館をはじめとした全国各地の自然の音と、それに融け合うピアノの美しいメロディーに、約60人の村民が聴き入っていました。



「ひぐらし」「秋風にのって」「雪花」の飯館三部作をはじめメロディーの美しい12曲が演奏されました

農産物をまちのスーパーへ  
新流通体制がスタート



(左から)杉岡村長、(株)リファー(白石)、高野笑子さん(前田・八和木)、福相農園(小宮)、(株)ダイサン(前田・八和木)、真船代表取締役社長

3月24日、『飯館村産農産物のヨークベニマルへの初出荷式』が草野集会所で行われました。仲卸会社の(株)マルセイが同集会所で集荷し、(株)ヨークベニマルの福島・伊達地区店舗で販売するという新たな流通が始まります。この日は出荷した生産者らが、初出荷に立ち会いました。(株)ヨークベニマルの真船幸夫代表取締役社長は、「農産物をきっかけに、飯館村の復興に尽力させていただきたい」と村への思いを述べました。丹精込めて作られた村の農産物が、村外発信への大きな一歩を踏み出しました。

飯館村消防団の防火パレード  
ふるさとを火災から守ろう

3月6日、飯館村消防団が、消防飯館分署などと協力し「防火パレード」を行いました。

キャッチフレーズに「おうち時間 家族で点検火の始末」を掲げた「令和4年春季全国火災予防運動」(3月1日から7日)に合わせて実施したものです。春先は空気が乾燥するなどして火災が発生しやすい時季。交流センター「ふれ愛館」の駐車場で出発式に臨んだ消防団の団員は、それぞれのポンプ車に乗り込み、小雪が舞う中、各行政区に分かれて「火の用心」を呼びかけました。



「火の用心」を呼びかける「防火パレード」は交流センター「ふれ愛館」の駐車場からスタートしました

今一番さびしいのは長泥の家が解体されたこと。除染と合わせて解体が進んだ訳だけれど、この実感をどう表現していいか分からない。これから避難指示解除を迎えても、そこがようやくスタート地点で、そこからが大事だ。夢のある復興を願っている。帰還困難区域としてだけでなく、中山間地域のモデルになれるような。それには道しるべとなる全体的なアイデアがほしい。先進的なハ

ウス農業でも、工業でもいい。しっかりデータを取った上で、市場に認めてもらえるのか、そこまでするつもりでいたいと思う。環境再生事業も同様だ。基盤整備をして平らになったから何かやってくれと言われても、この11年、年齢を重ねた我々には難しい。震災当時は行政区域長。皆を信頼し、自分と違う意見を大事に考えた。皆答えが違っても、それが正しいのだから、角

度を少し変えて「こういう考えもある」と飲み込む雰囲気が大変だ。反発が逆に勇氣や力をくれたとも思う。落ち込んだり泣いたりもしたが諦めたくはなかった。この11年、すごく長かった。今はあまり先のことは考えられない。今日1日を悔いなく生きたいと思っている。元に戻すことはできないのだから、皆が変わる覚悟を持たないといけない。これまでとは違う色合いの幸福が感じられる故郷になってほしい。年に4回、皆で草刈りをして、それぞれ自宅周りもやってきたから、「帰還困難区域であるのにきれいな所はない」と言われてきた。都市部の人もリモートで仕事ができる時代。全国から、あるいは世界から、長泥の復興に関わってみたい人が、数人からでもいい、来てくれたらと思う。自分自身ができなくなっても、長泥を何とか残したい。そう願っています。



## はなれていても

鳴原良友さん（長泥 福島県福島市在住）

## 色鮮やかに長泥の花を加工



現在は村長室で大切に飾られています

長泥地区で環境省が村民と共に試験栽培している花を使ったドライフラワーを、3月2日より役場庁舎内に展示しています。使われている花は、昨年9月に刈り取りをしたトルコギキョウ、カスミ草、リンドウ。3か月ほどかけて乾燥させ、保存用のガスを注入したガラスドームに密封することで、長期保存可能なドライフラワーに生まれ変わりました。

## 里山×アートinいいたて



松田さん

3月上旬、改装が進む旧コメリで、国内外の第一線で活躍する彫刻家・松田重仁さんの木彫制作が公開されました。材料は村内で伐採されたケヤキ。チェーンソーを使った粗彫りには菅野清さん（佐須）からも協力しました。「ふくしま再生の会」（田尾陽一理事長／佐須）のプロジェクト「里山×アートinいいたて」の一環で、作品の公開は5月の予定。

身近な話題をお寄せください

☎0244-42-1613  
村づくり推進課企画係

## 話題のパレット

### 小林さんがタラの芽を出荷



2月22日、小林丈二さん・千代子さん（前田・八和木）夫婦が生産する「タラの芽」が、フレスコキクチ鹿島店、ヨークベニマル原町店・原町西店（いずれも南相馬市）の3店舗に出荷されました。店舗によると、地場産品は人気が高く、売り上げも良いとのこと。小林さん夫婦は、思いを込めて丁寧に商品を陳列しました。



### 折り雛と想いを受け取りました



2月、役場に1通の手紙と折り雛が届きました。送り主は、昨年も手作りの折り雛を送ってくださった横浜市在住の飯尾幸子さん（令和3年4月号掲載）。今年は、それぞれ柄の異なる着物を着たお内裏様とお雛様が3組。すべて手作りで細部まで丁寧に作られています。離れていても、村へ想いを寄せ続けてくれる方がいる証です。



ブラックボックス  
砂川文次 著  
発行 講談社  
（第166回芥川賞受賞）

芥川賞受賞作「ブラックボックス」（砂川文次）、直木賞受賞作「塞王の橋」（今村翔吾）など話題作がラインアップに加わりました。図書貸し出しをぜひご利用ください。

おすすめ図書を紹介します

交流センターが主催する「わくわく農業体験塾」で3月13日、「こんにやくと白菜キムチの手作り教室」が行われました。前田地区の細杉今朝代さん宅で開かれた教室には14人が参加。全員初めてのこんにやく作りでは、講師の齊藤次男さん（深谷）の指導でこんにやくをすりつぶし煮詰めて凝固剤を入れ、2時間半近くをかけ10kgのこんにやくを作り上げました。塾生達は作りたてのこんにやくの澄み切ったおいしさに驚いていました。



できたでふるふる

交流センター「ふれ愛館」だより

# 暮らしの情報 PICK UP ピックアップ



## ● 申告相談の延長について

新型コロナウイルス感染拡大の影響で期限までの申告・納付が難しい方に対し、期限の延長が国税庁より示されました。該当する方の申告相談を4月15日まで延長しています。対象は村県民税及び所得税の確定申告です。ご希望の方は予約をしてください。 **問** 住民課税務係 ☎0244-42-1615

## ● 高速道路の無料延長措置について

一時帰宅等の支援を目的とする高速道路の無料措置（ふるさと帰還通行カード）は令和4年4月1日から令和5年3月31日まで実施期間が延長されました。今回から本来の目的に合う利用となるよう、車種が中型車以下に限定されます。新しいカードはネクスコ東日本から直接利用者へ送付されます。 **問** 住民課住民係 ☎0244-42-1618



## ● ごみ収集について

収集日や分別方法は、全戸配付の「令和4年度飯館村ごみ収集表」でご確認ください。今年度から、村営住宅がある草野、深谷、飯樋町、白石の4行政区と笠石住宅団地については、燃やすごみの収集が週2回となります。収集曜日に変更になる地区もありますので、ご確認ください。ごみの分別と減量化に、引き続きご協力をお願いします。 **問** 住民課住民係 ☎0244-42-1618

## ● 生活支援ワゴンの運行について

村は、飯館村社会福祉協議会に委託し、買い物等のためのワゴン車を運行しています。買い物物の他、「いいたてクリニック」や金融機関等への移動にもご利用いただけます。利用には事前の予約が必要になりますので、下記までご連絡ください。【予約】サポートセンターつながっぺ ☎0244-26-5207 【運行日程】月・水・金曜日は川俣町への買い物運行／火・木曜日は「いいたてクリニック」等村内 **問** 健康福祉課福祉係 ☎0244-42-1633

## ● 野焼きについて

令和4年以降の野焼きについては、行政区を主体として住民に周知されていることを基本に、乾燥期や強風時等を除きいつでも実施ができることとします。実施にあたっての種々の条件を満たしているか確認をした上で、届け出してください。①野焼きは基本的に廃棄物の処理及び清掃に関する法律で禁止されていますが、農林業等を営む上で止むを得ない範囲でのみ例外として行うことができます。②行政区内の野焼き計画を取りまとめの上、区長が届け出てください。③届け出は、予定日の7日前まで。窓口は産業振興課農政第二係です。（消防飯館分署へは、村からFAX等で情報を共有します）④野焼き責任者（氏名連絡先等を届け出）は、実施当日、必ず消防飯館分署 ☎0244-42-0119に連絡してから野焼きを行ってください。⑤日時の変更や中止の場合も、消防飯館分署に連絡してください。 **問** 産業振興課農政第二係 ☎0244-42-1625

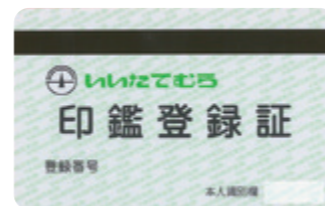
## ● 印鑑登録証のデザインが変わります

印鑑証明書を取得する際に必要な「住民カード」（印鑑登録証）のデザインが令和4年4月1日から変更になります。今までお使いの「住民カード」は、住民課窓口へご本人が来庁された場合にのみ新しい「印鑑登録証」と引き替えいただけます。今お持ちの「住民カード」や、黄色い紙の「印鑑登録証」も引き続きお使いいただけます。

**問** 住民課住民係 ☎0244-42-1618



今までの住民カード



新しい印鑑登録証

# おしらせ

## 村民と村をつなぐ広報紙を目指して

### 福島県広報コンクール入賞を報告します

**第** 67回福島県市町村広報協会コンクールの広報紙部門で、「広報いいたて」が町村の部の佳作に入賞しました。また、「同コンクールの全市町村を対象とした映像部門で、「ネイティブスピーカー」カース飯館言葉の達人たち」が佳作を受賞しました。飯館村の広報紙は、毎号たくさんの方のご協力をいただきながら制作されています。村は今回の受賞についても、各種取材に快く応じてくださる村民の皆さんと共にいただいた賞であると受け止めています。日頃よりのご協力に改めて感謝申し上げます。一方の動画は、広報紙をきっかけに、各種デジタルコンテンツにも親しんでいただくとうと始まった企画で、飯館の方言を学びながら、ゆるく楽しく手作りの動画を配信しています。普段は動画にあまり触れる機会のない方も、得意な若者にちよつと聞いてみたりして、試しにご視聴いただければ幸いです。



「いいたての蕎麦」を特集した広報いいたて（令和3年6月号）の紙面



方言がテーマのミニ動画「ネイティブ・スピーカー」カース飯館言葉の達人たち」の一場面  
※各号裏表紙をご覧ください

## 3月の村の動きと主なできごと

- 2月14日～3月15日・申告相談（「レレツジ」ハウフ ※新型コロナウイルスの影響で4月15日まで延長）
  - 2月28日～3月14日・3月議会定例会（議場）
  - 「3月」
  - 2・4日・新型コロナウイルスワクチン集団接種（いちばん館）
  - 5日・自主文化事業「守時タツミ」「アノコンサート」（交流センター「ふれ愛館」）
  - 6日・飯館村消防団 防火パレード（交流センター「ふれ愛館」・村内各所）
  - 「ふくしまフェスティバル2022 at てんしば」 出展（大阪府大阪市）
  - 7日・第63回新型コロナウイルス感染症対策本部会議（村役場）
  - 11日・いいたて希望の里学園 卒業式（いいたて希望の里学園）
  - 13日・わくわく推進協議会 カレーパン試食会（村カフェ753）
  - 14日・「ゼロカーボンレレツジいいたて」宣言（村議場）
  - 15日・飯館村地域包括支援センター運営協議会（村役場）
  - 16日・飯館村介護保険運営協議会（村役場）
  - 第4回飯館村男女共同参画計画策定委員会（交流センター「ふれ愛館」）
  - 認知症カフェ（ゆずカフェ）（交流センター「ふれ愛館」）
  - 第6回学校運営協議会（村役場）
  - 飯館村災害対策本部を設置（村役場）
  - 飯館村で震度6弱を観測
  - 17日・まていの里のこども園 卒園式（まていの里のこども園）
  - 18日・第3回飯館村子ども読書活動推進計画策定委員会 交流センター「ふれ愛館」
  - 農業委員会定例会（村役場）
  - 元気アップポイント表彰式（交流センター「ふれ愛館」）
  - 23日・元気アップポイント表彰式（交流センター「ふれ愛館」）
  - 定例会教育委員会（村役場）
  - 防災教育・避難訓練（交流センター「ふれ愛館」）
  - 23・26日・新型コロナウイルスワクチン集団接種（いちばん館）
  - 24日・ヨークベニマルへの農産物初出荷式（草野集会所）
  - 社会教育委員会（交流センター「ふれ愛館」）
  - 25日・第2回長泥地区除染検証委員会（村役場）
  - 土地改良区通常総代会（交流センター「ふれ愛館」）
  - 28日・第2回飯館YORTOKO発見！ツアー検討委員会（交流センター「ふれ愛館」）
  - 29日・転出教職員離任式（村役場）
  - 文化財保護審議会（交流センター「ふれ愛館」）
  - 31日・飯館村地域おこし協力隊・松本奈々さん卒業式（村役場）
- 〈お詫びと訂正〉 広報いいたて令和4年3月号の同コーナーで「第61回新型コロナウイルス感染症対策本部会議」の日がちが2月15日となっていました。訂正は2月7日でした。お詫びして訂正いたします。



### 〈ふるさと資源〉発掘図鑑

掲載についてなどお問い合わせは村づくり推進課企画係  
☎0244-42-1613までお気軽に。



朝の最低気温がマイナス16度を記録した2月24日、霧氷をまとい銀細工のように輝く木々をスマホで撮影していた大井さん。昇る朝日の一瞬の輝きを写真に捉えました。この冬一番の冷え込みを話題に、素敵な写真を見せていただきました。



季節を感じながら村の風景を撮り福島に住む妹と写真のやりとりをしています。凍った枝がとてもきれいで朝日でとける前にと撮影していました。

大井美千子さん（草野）

編み物が大好きな菅野さん。編み込み模様が美しいセーター類も素敵ですが、自己流で見たものを立体に編めるといふ才能にもびっくりです！



夫婦で関東などへ仕事に行っていたので、当時はよく車の中で編み物をしていました。退職して時間ができて、今は娘達に、好きなキャラクターの編みぐるみなどを作っていて、編み物で日々いやされています。



家族への愛情がこもったセーター、カーディガンの数々、そして愛らしい編みぐるみ

菅野幸子さん（佐須）

## 地域おこし協力隊 いたてDIARY

ダイアリー

2019年に飯館村に来てから3年が経ち、今年3月で地域おこし協力隊を卒業することになりました。村の文化も暮らし方もよくわからず、戸惑い、助けを求めてばかりだった私を家族のように温かく受け入れてくださったみなさんに感謝してもしきれません。正直不安半分で移住したこの村が、今では居心地の良い自分の居場所になっています。

ここに来なかったら縁もなかったであろう人たちとの出会いや、想像もしなかった自分自身との出会いがたくさんあり、村のごく当たり前の日常が、私の目にはいつも新鮮に映っていました。協力隊任期が終わっても、引き続きここに居させてもらつつもりです。話したことのない人や、行ったことのない場所など、まだまだ私の知らない出会いが村のあちこちに散らばっていると思うと、これからの毎日楽しみで仕方ありません。

今後は、去年立ち上げた地域おこし会社を仲間と運営しながら、住んでいるからこそわかるこの地の「面白さ」をもっと知ってもらえるよう、様々な伝え方を考えていきたいと思います。みなさんこれからもどうぞよろしく願いいたします！



旧コメリでの活動が本格化しています



3月末で協力隊を卒業

今月のライター

飯館村地域おこし協力隊 松本 奈々さん



### おいしい飯館！ままでの食卓

生産者の皆さんにおいしい食べ方を聞いてみよう！

#### 行者ニンニクの巻

香りも健康効果もパワフルな食材

夫の隆幸さんを中心に家族で農業を営んできました。行者ニンニクは旬を迎える4月いっぱい道の駅にも出荷する予定。



菅野益枝さん（関根・松塚）

行者ニンニクは山菜の一種で独特の香りがあり、血液をさらさらにするアリシンが豊富。葉が柔らかい旬の時期は、高野豆腐と卵とじにしたり、肉炒めに入れたり。天ぷらもおいしいですね。行者ニンニク味噌も美味しいですよ。

北海道から種や苗をもらい30年程前から栽培を始めたそうです。「難しいから面白い」と隆幸さん



生の葉と茎を刻んで餃子のタネに混ぜ込みます。ニンニクに似た香りが食欲をそそります。



元気もりも餃子のタネに

香りが強いので入れる量は好みで



刻んでみんつゆ漬けに→煮沸消毒したガラス瓶で保存します



みんつゆ漬けは薬味になる他、玉子焼きに入れるのもおすすめ



### 誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
高野 かく 岳くん	智宏・香織	福島市
高野 だん 暖くん		

### 結婚おめでとう

氏名	出身地
巻野 大	飯樋町
児玉 沙織	福島市

### ひとのうごき

（令和4年2月28日現在）		2月1日～28日までの人口動態	
人口	今月（前月比）	◆◆人口動態◆◆	
男	2498人（-5）	転入	5人
女	2483人（+1）	転出	6人
補計	4981人（-4）	出生	1人
世帯数	1806戸（-3）	死亡	4人
		（住民基本台帳人口）	

（2月21日から3月20日までに届け出のあったものを掲載）  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

### おくやみ

氏名	年齢	行政区
菅野 一美	88	宮内
庄司 トシヨ	86	関沢
杉浦 ミツ代	92	伊丹沢
中川 美紀子	70	宮内
高橋 武雄	74	関沢
市澤 照雄	78	大久保・外内
菅野 フミ子	97	関根・松塚
大島 功	87	宮内
星 八ナヨ	96	上飯樋

ご冥福をお祈り申し上げます



